

令和3年度学校評価自己評価書【後期】

1 学校教育目標

夢や目標をもち、自らを律しながら、共に学び共に伸びる子どもの育成

2 重点目標

- (1) 学校における「新しい生活様式」を踏まえた感染防止策の徹底と教育活動の充実
- (2) 人権教育を基盤とした教育活動の推進
 - ・ 学級・学年経営の充実（自尊感情の育成，出番と心の居場所のある学級・学校づくり）
 - ・ 一人一人が大切にされる授業づくり，互いのよさを認め，協働できる学習集団づくり
 - ・ 自立心や自律性，生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てる道徳教育
- (3) 新学習指導要領完全実施への確実な対応
 - ・ 授業改善，及び，GIGAスクール構想の推進・充実
- (4) 安全指導の推進（KYTの積極的推進による危険予知・回避能力の育成）

3 課題と改善策（4段階評価 4：とても思う 3：思う 2：あまり思わない 1：思わない）

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学校経営	1 校長の学校経営方針は，保護者や地域にはっきりと伝わっている。	3.5	・ 学校日より，学級だよりの発行やPTAとの連携，学校評議員会の充実を図る。
	2 めざす子どもの姿に向かって目標を設定し努力している。	3.7	・ 一事徹底事項「行く言葉を美しく」の更なる具現化に係る指導の充実を図る。
	3 思いやりの心を育む教育活動が計画的に位置付けてある。	3.4	・ 学級経営（人権教育）を基盤に，自他を大切にする実践力の向上を図る。
	4 先生と子どもとの好ましい人間関係づくりがなされている。	3.2	・ 多様化する子どもの実態に寄り添い，深い子ども理解に努める。
	5 教育の質の維持，向上をめざした業務改善に取り組んでいる。	3.8	・ 各自が1改善を意識し，業務の円滑化，業務の見直しを継続する。
学習指導	6 子どもたちは，楽しそうに生き生きと学習に取り組んでいる。	3.4	・ 先生と子どもとの信頼関係が育まれる自己研鑽に努める。
	7 学力向上について，授業における指導法の改善に努めている。	3.5	・ 思考力，判断力の向上を念頭において指導法の工夫，改善を図る。
	8 家庭学習の定着など家庭との連携が図られている。	3.0	・ 家庭学習強調月間（6，11，2月）を通じた取組の充実，家庭との連携を図る。
生徒指導	9 いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	3.8	・ いじめへの意識を低下させず，迅速な対応や防止に徹底して取り組む。
	10 家庭や関係機関等の相談体制がとられている。	3.4	・ 担任等が一人で抱え込まず，共通理解を基に，相談体制を充実させる。
保健指導	11 子どもたちの心身の健康について，一人一人の実態に応じた手立てをとっている。	3.5	・ 新型コロナウイルス感染症を念頭に，確実な健康観察を継続する。
	12 健康について，家庭や医療機関との連携を図っている。	3.0	・ 基本的な生活習慣の確立，病気治療等家庭や医療機関との細かな連携を行う。
	13 子どもたちの安全（登下校，自然災害時）について細心の注意をはらっている。	3.2	・ 集団下校，保護者引取り訓練の成果を日常につなげる指導の充実を図る。
環境衛生	14 学校は常に整理整頓，清掃がなされ，花や緑に囲まれている。	3.5	・ 教職員が率先して，学級園の整備や一人一鉢活動に取り組む。
	15 学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検や補修等がなされている。	3.5	・ 安全点検に基づいた迅速な対応と計画性をもった修繕を実施する。

4 次年度に向けての取組

- ・ 全ての子ども達が安心して過ごせるように，いじめの未然防止の取組をはじめ，新型コロナウイルス感染症対策の充実を図りつつ，諸教育活動の更なる深化を図りたい。